

エンゲル係数、44年ぶり高水準

総務省が6日発表した2025年の家計調査によると、1世帯（2人以上）当たりの消費支出は月額平均が31万4001円と、物価変動の影響を除いた実質で前年比0.9%増加した。プラスは3年ぶり。物価高の影響で、食料を中心に節約志向が続いた一方、大阪・関西万博の開催を受け旅行関連の支出が増えた。

家計の支出に占める食費の割合を示すエンゲル係数は、食料の値上がりの影響で28.6%と1981年以来44年ぶりの高さとなった。

支出品目別の内訳は、食料が1.2%減と6年連続マイナス。価格が急騰したコメは6.1%減

だった。このほか、値上げの影響でパンが4.9%、菓子類が2.8%減少した。教養・娯楽は3.7%増。万博の影響で国内パック旅行費や文化施設入場料が増え、教養娯楽サービスが3.6%増加した。光熱・水道は2.5%増と2年ぶりのプラス。年前半の気温低下と、梅雨から夏にかけての気温上昇で冷暖房需要が高まり、電気代が4.6%、ガス代が1.0%増加した。

同時に発表した25年12月の消費支出は35万1522円と、実質で前年同月比2.6%減少した。マイナスは2カ月ぶり。食料が2.4%減と、物価高を受けた節約志向が続いた。

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 傍線部について、エンゲル係数は一般に、生活が豊かになるとともに「上昇する」「低下する」のどちらか、答えましょう。

--

2 前年より支出が減った品目は何ですか。次の①～⑤からすべて選んで、記号で書きましょう。

①菓子 ②旅行費 ③コメ ④パン ⑤光熱費

--

3 物価高なのに、2の答えの支出が減ったのはなぜですか。その理由を本文中から漢字4字で抜き出しましょう。

--	--	--	--

NIEワークシートのこたえ（2026年2月9日公開）

◆ワークシート「エンゲル係数高水準(社会)」
2026.2.6付 夕刊 1面 解答

1 低下する

2 ①③④

3 節約志向